

第19回自治体国際交流表彰（総務大臣賞 2025年）に係る
審査委員会全体講評

昨今、海外との対面による交流が再開され、多様な交流事例の広がりを感じる中、教育、文化、スポーツ、経済など様々な分野での国際交流活動に尽力された全国各地の自治体等のご関係者様に感謝を申し上げますとともに、本事業において全国各地より多数の優れた取組について応募をいただきましたこと、まずもって御礼申し上げます。

応募のあった取組は、姉妹自治体提携に基づくものから特定の政策分野（産業、環境、教育等）に関わるものまで多岐にわたりますが、いずれの取組も、参画されている方々にとって視野の広がる刺激や心温まる経験になるとともに、地域に活力をもたらす源にもなっていると拝察します。

審査委員会では、審査基準6項目（先進性、独自性、継続性、活発性、協同性・連携性、効果）に着目し審査を行いました。

本委員会では、これらの項目から総合的に判断し、三芳町、公益財団法人長岡市国際交流協会及び北九州市の3団体を推薦団体と決定しましたが、この3団体のほかにも、例えば下記のような取組を行っている団体があり、今後の発展や成果を期待しております。

- ・ 伝統舞踊の現代交流や先進技術を活用した交流をしている団体
- ・ 商店街やものづくりの中小企業等を巻き込んだ裾野が広い交流をしている団体
- ・ 世界共通の課題である世界平和を願い各姉妹（友好）都市と交流をしている団体
- ・ 職員の相互派遣により、姉妹（友好）都市との架け橋となる人材を育成し、自治体間交流にとって重要な人的交流を継続している団体
- ・ 単なる友好・親善にとどまらず、来訪者の安心を通じて共生社会づくりを目指している団体
- ・ 様々な世代の活発な交流が継続的・歴史的に積み重ねられている団体

最後に、地域の国際化に取り組んでおられる自治体や国際交流協会関係者等の皆様の多大なる御尽力に敬意を表しますとともに、この自治体国際交流表彰事業が今後の国際交流の進展の一助となることを祈念して、第19回自治体国際交流表彰（総務大臣賞 2025年）の全体講評といたします。

令和7年3月
自治体国際交流表彰審査委員会